

オンラインイベント

ポスト2020生物多様性枠組への 日本の貢献

UNDB-J主流化事例からのバトンパス

2021年の4月から5月にかけて、生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)が中国で開催され、自然共生社会を目指すための新たな世界目標(ポスト2020生物多様性枠組)が決定される予定です。次期世界目標の達成には、あらゆるセクターの参画が必要です。本イベントでは、あらゆるセクターとともに生物多様性の主流化をけん引してきた日本の経験について共有し、次期世界目標の議論に貢献するとともに、同枠組に向けた国内の取組を促進します。

令和3年11月17日(水) 9:00-11:00(日本時間)

開催形式: Zoomウェビナー
登録URL: <https://bit.ly/3bb1wuo>



武内和彦

公益社団法人地球環境戦略研究機構
(IGES) 理事長



エリザベス マルマ ムレマ

生物多様性条約事務局 事務局長



涌井史郎

東京都市大学 特別教授

主催: 環境省、生物多様性枠組実現日本会議(J-GBF)

共催: 生物多様性条約事務局

プログラム

9:00-9:10	開会挨拶	CBD事務局 エリザベス・マルマ・ムレマ事務局長 環境省 奥田直久自然環境局長
9:10-10:10	第1部	UNDBの10年間の成果と今後の取組 <ul style="list-style-type: none">・UNDB、CEPAの取組(CBD事務局)・UNDB-J及び日本政府の取組(環境省 生物多様性主流化室)・ビジネス界の取組(経団連自然保護協議会)・自治体の取組(愛知県 / 名古屋市)・生物多様性わかものネットワークの取組と成果 (生物多様性わかものネットワーク)・JBFの取組(CBD事務局)
10:10-10:55	第2部	ポスト2020生物多様性枠組とさらなる生物多様性の主流化に向けて なすべきことについて <ul style="list-style-type: none">・第1部登壇者によるパネルディスカッション 進行: 涌井史郎(UNDB-J 委員長代理/東京都市大学 特別教授)
	閉会挨拶	武内和彦 (J-GBF 会長代理/ 公益社団法人 地球環境戦略研究機構(IGES) 理事長)

※内容は都合により予告なく変更する場合があります。

問合せ: 公益財団法人日本自然保護協会(NACS-J)
press@nacsj.or.jp

